

事務事業名		運動施設活性化事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあう暮らしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	総務G	課長名	上村 博子
	施策名	(17)健康づくりの推進		担当者名	飛田 博志	電話番号	0854-40-1018 (内線) 3629
	目的対象	対 象 市民	意 図 心身ともに健康で暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 2 0 1 0	事業名	運動施設活性化事業
	基本事業名	(048)健康づくりの普及啓発			中事業 中事業 0 5 0 5 0 1	事業名	運動施設活性化事業
目的対象	対 象 市民	意 図 健康に対する正しい知識を得、健康づくりに取り組む。					

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
公共スポーツ施設(キラキラ雲南が指定管理をする大東体育館、B&G海洋センター、アスバル)の3施設のホームページを改修し、予約機能やメルマガ機能、アンケート機能、利用分析機能、テレビ会議システムを構築し、施設利用の向上と施設管理の効率化を図る。 併せて3施設において運動教室を開催し、市民の健康づくりを支援する。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)					
	システム整備委託 運動教室の開催事業委託	なし					
	② 活動指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア	市委託運動教室参加者数	人			1,774	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市民		ア	体育施設利用者数	人			129,579	
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	健康づくりへの意識の向上 運動の促進 運動施設が行う教室等の充実		ア	日頃から運動をしている市民の割合	%			37.1	
			イ						
			ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
システム整備委託費 4,988千円 運動教室開催委託費 1,000千円		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円			5,988	
			一般財源	千円				
			事業費計 (A)	千円			5,988	
人件費			正規職員従事人数	人			1	
			延べ業務時間	時間			200	
			人件費計 (B)	千円			784	
			トータルコスト(A)+(B)	千円			6,772	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
スマートフォンの普及により、ICTを取り巻く環境は大きく変わってきており、タイムリーな話題提供がより求められている。	特になし	他の運動施設にも普及させてほしい。

事務事業名	運動施設活性化事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	全額助成により事業を実施した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	システム整備のハード事業は単年度のため影響なし。 運動教室(ソフト事業)は、H25年度から市単の運動教室開催事業(過疎債ソフト)に組み入れ事業展開している。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		運動教室開催事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない			運動教室(ソフト事業)は、H25年度から市単の運動教室開催事業(過疎債ソフト)に組み入れ事業展開している。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	H24単年度事業のため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	H24単年度事業のため、H25年度以降は人件費は発生しない。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	運動施設が要望していた助成事業を市が間に入って申請・実施・報告をしているため(助成事業の実施主体が自治体のため)、公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
			平成25年度当初のアクセス数が飛躍的に伸びており、事業の成果が確実に現れているので、これを施設の利用実績に反映させていきたい。また、システム整備の業者選定にあたっては、次年度以降のランニングコストも評価指標としていることから、指定管理料の範囲内で対応できるものである。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					